

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】

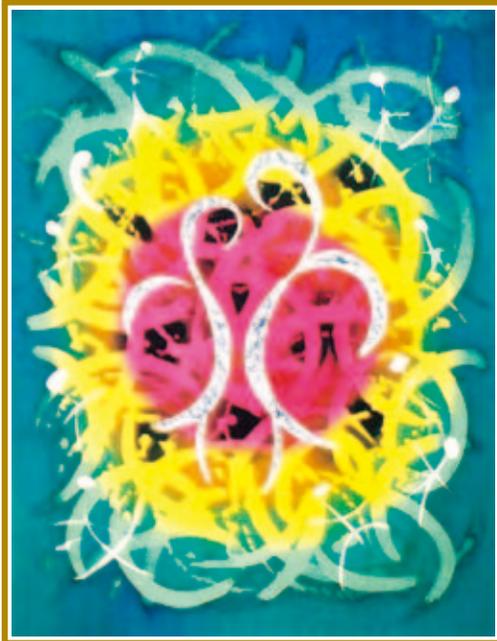


新毎日新聞

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています
滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.388・10月20日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数:100,000部
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5



モーツアルトの「魔笛」からイメージ

ろうけつ染めは木ろうやパラフィンろうを使う伝統的な染色技法。酒井栄一さんは60余年、創作活動に加えて、後進の指導にも力を注いでいる。

スタートは日本刺しゅう

酒井さんは日本刺しゅうの作家としても活躍している。幼いころに小児まひを患って左足が不自由になり、実家の農業が継げないため、日本刺しゅうを始めた。きっかけは友人と訪れた美術館で日本刺しゅうを見て、美しさに心ひかれたことだという。



教室では熱心な指導を行う

「創作活動64年」 「ろうけつ染め」に打ち込んだ人生



さかい えいち
工芸作家 **酒井 栄一**さん
(守山市在住・92歳)

5年契約の住み込みでの修業に自ら入った。厳しい世界で毎日泣いていたが、努力が実って腕を上げ、21回も日展に入選、日展会友にもなった。

先生の趣味を手伝ううちに…

ろうけつ染めは刺しゅうの修業中、先生が趣味でやっているのを見て、その柔らかでまったりした味わいのとりこになった。

布に木炭で下絵を描き、白く残したい

部分にろうを塗る。薄い色から染め、最後にせっけん水で煮ると、ろうを塗った部分が白く残り、独特の柔らかみが出る。

酒井さんは、無性にやってみたくなった。しかし、修業の身、堂々とやるわけにはいかなかった。

修業中は先生のお手伝いにとどめ、修業を終えたあと、下宿を探して移り住

み、ろうけつ染めに打ち込んだ。

着物、ネクタイ、スカーフから、額やびょうぶなどの室内装飾品まで、さまざまなるろうけつ染め作品を作った。

酒井さんの作品は色合いが豊かで大変美しい。だがその技術は「先生がやるのを見て覚えたもの。特に習ったわけではない」。と、どこまでも控えめだ。



下絵は木炭で描く

重要なのは図案だ。酒井さんは「見たものをそのまま描くだけでなく、いろいろな角度から見て組み合わせてみて

は」などと指導する。「もし体が不自由でなかったら、ろうけつ染めに出会うことはなかったかもしれません。この仕事に就けてよかったと思っています。これからも楽しみながら続けて行きます。

最近、大好きなクラシック音楽を聴き、そこからイメージしたものを作品のテーマにしているという。(取材・澤井)



「盛夏」

詳しくは www.gaido.jp/3881

楽しさを多くの人に

酒井さんが大津市の公民館で講座を開き教室を始めたのは、戦後間もない1947(昭和22)年のことだ。講座を終了した会員たちが「もっと勉強したい」と52(昭和27)年「ろうけつ染会」を結成、現在60歳代から80歳代まで約60人の会員が大津、草津、水口、近江八幡の公民館で勉強を続けている。年に1回の色紙展や2年に1回の作品展を滋賀県内の各地で開き、会員の交流を深めている。

10/26(水)
11/2(水)

第22回守山市美術作家協会展

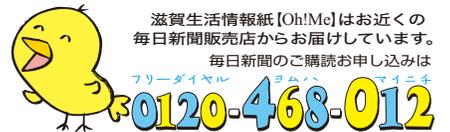
【場所】守山市民ホール 展示室
(守山市三宅町125/077-583-2532)

【時間】9:00~17:00

※初日は13:00から。最終日は16:00まで
11/1は休館

酒井 栄一

●守山市山賀町436 ●TEL:077-585-0151



滋賀生活情報紙[Oh!Me]はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。

毎日新聞のご購読申し込みは

フリーダイヤル **0120-468-012**

勸学院客殿

10/23(日)
狩野光信による華麗な障壁画(重文) 11/6(日)・13(日)



智証大師御正忌会

～秘仏・智証大師坐像(国宝)御開扉～ 三井古流煎茶道献茶式
重文・唐院にて 10/29(土) 午前10時から

※秘仏・智証大師坐像(国宝)の一般参拝は法要終了後、午後3時まで

<http://www.shiga-miidera.or.jp>

三井寺

検索

特別公開

今秋の

◆時間/午前10時から午後4時まで
◆拝観料/各客殿 一人 六〇〇円

近江八景、三井の晩鐘 西国第14番札所



tel 077-522-2238



光浄院客殿

10/30(日)
11/20(日)
桃山時代を代表する書院建築

大津市園城寺町246 ●拝観時間 午前8時～午後5時 ※年中無休
●拝観料 大人500円/中高生300円/小学生200円 ※30名以上は団体扱い
です。(上記料金より一人マイナス50円) ●駐車場 350台収容(1日500円)

交通のご案内 ○JR琵琶湖線「大津駅」下車、バス10分 ○JR湖西線「大津京駅」
下車、南へ徒歩(1.8km)15分 ○京阪電車石坂線「三井寺駅」下車、西へ徒歩(0.7km)5分